

令和6年5月29日

**（公社）全日本トラック協会青年部会による
専修大学北上高等学校への整備実習用トラックの寄贈について**

全日本トラック協会青年部会（金井健蔵部会長）は、5月29日（水）、専修大学北上高等学校（阿部伸校長）への整備実習用トラックの寄贈式を執り行った。青年部会では、平成27年度から、社会貢献活動の一環として、自動車教育課程を有する高校に対して整備実習用トラックを寄贈する取組を行っている。自動車教育課程を有する高校では、ディーゼルエンジンの構造等を学ぶためのトラックを入手するのが困難な場合が多いことから、青年部会では、全国自動車教育研究会（自動車教育課程を設置する高等学校の全国組織）と連携し、同会加盟校から寄せられた希望に応じて、青年部会員の募金を原資とする中古トラックの購入・寄贈を行っているもの。今回の専修大学北上高等学校への寄贈は、通算14校目であり、東北地方では初の実施となった。寄贈式には、同校から阿部伸校長をはじめとする先生方、生徒の皆様方にご出席いただいた。トラック協会側からは、全日本トラック協会青年部会から金井部会長・東北ブロック代表高橋伸光副部会長をはじめとする正副部会長9名、都道府県トラック協会青年部会の代表5名の計14名が出席し、寄贈車両の提供者である大亀運輸株式会社の大川孝夫代表取締役にもご出席いただいた。式冒頭、まず金井部会長が挨拶し、「トラックやディーゼルエンジンの構造について学んでいただくとともに、皆さんが普段使うもののほとんどがトラックによって運ばれていることにも意識を向けていただき、トラックが活躍する『物流』の世界にも興味を持っていただきたい。」とメッセージを送った。また、同校の阿部伸校長からは「本校にはこれまで実習用のトラックがなかったことから、今後は特徴的なエンジンやタイヤなどの構造を実際に見て学ぶことができる。今回トラックを寄贈していただいたことで、環境がさらに充実し、深い学びにつながると確信している。」と挨拶した。

この後、金井部会長から専大北上高校自動車科3年の高屋敷歩さんにレプリカキーが手渡され、「今まで学校にトラックがなく、トラックをいただけるととても感謝している。きっと学んだことが将来の役に立つと思う。」と謝辞が述べられた。



寄贈式の様子



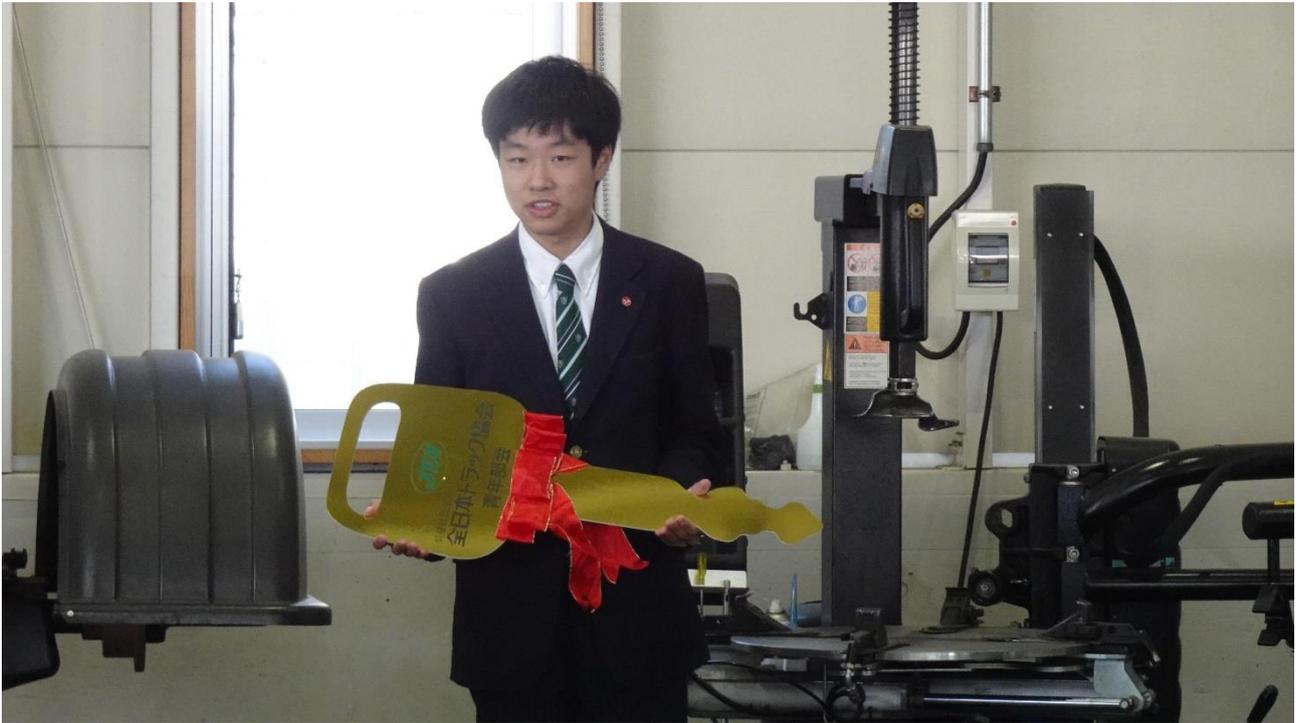
挨拶する金井部会長



挨拶する阿部校長



レプリカキーの贈呈



謝辞を述べる高屋敷生徒代表



参加者の記念写真

専修大学北上高校の皆様

最前列中央：大亀運輸株式会社 大川社長（車両提供者）



参加者の記念写真

**専修大学北上高校の皆様、大亀運輸株式会社 大川社長（車両提供者）、
全日本トラック協会青年部会正副部会長、都道府県トラック協会青年部会代表**



参加者の記念写真

全日本トラック協会青年部会正副部会長、都道府県トラック協会青年部会代表



地元放送局3社の取材を受ける大川社長、金井部会長